

IV-④ 特別支援教育調査官を招いての幼小中特の合同研修

令和元年12月10日、文部科学省初等中等教育局特別支援教育調査官 田中裕一先生を招いての幼小中特の合同研修会を実施した。事前に各校園の悩みや聞いてみたいことを調査官に送り、それに答えていただいたり、授業を参観してもらいアドバイスをいただいたりした。また、「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善の考え方～発達障害の特性から～」のテーマでご講演いただき、附属学園改革の柱「インクルーシブな学校文化の醸成」の実現に向けて示唆を得た。

異校種の附属教員が合同で特別支援の研修を受けることで、発達段階に応じた支援の在り方など12年間の連続した成長での支援を互いの立場で考えることができ有意義なひとときが共有できた。

また、翌日の12月11日には、附属特別支援学校の公開授業研究会が開催され、附属学園の異校種教員も多数参加し、通常学級で取り入れられることを学んだ。

1 研修の様子



①授業を参観して



②高木中学校長挨拶



③田中調査官の指導講話



④坂井校園長による謝辞と総括

2 参加者の感想(一部)

<幼稚園教員の声>

- ・幼稚園では、これまで以上に子供たち一人一人の学び方やスピードを大切にする視点から保育を展開することによって、豊かな経験を保障したいと思う。
- ・幼児期の経験を小学校教育へ確実につないでいくことで、未知の状況に対応できる力をしっかりと育てていきたいと思う。
- ・発達支援の必要な園児への具体的ななかかわり方のアドバイスをいただいたので実践していきたい。

<小学校教員の声>

- ・田中調査官の2つの主張点「子供のニーズを知る」「つなげる」を具体化、実践、発信をしていき、インクルーシブな学校文化を醸成していきたい。
- ・「全体での解決と個別での解決の使い分け」「ルールの柔軟性」「叱り方」など具体的にアドバイスをいただいたので実践していきたい。
- ・保護者対応にも子供への手法が活かせることを具体的に話していただき実践していきたい。
- ・45分の一斉授業の中で、個に応じた活動ができる場をしっかりと保障することと、学習内容を整理したりまとめたりする場面でUD化を図り、わかりやすく工夫したい。

<中学校教員の声>

- ・特別支援教育について、坂出学園としてそれぞれの校種の先生と一緒に学ぶことができたことは、特支を含めた幼小中一貫教育を推進する上で良かったと思う。
- ・普段かかわっている目の前の生徒を思い浮かべながら、何をしたら良いのか、何ができるのかと色々と考えるようになった。
- ・話を聞いていて、気になる生徒の顔が浮かんできた。特に、「つなぐ」ことの大切さを学んだ。中高への引き継ぎを今以上に考えていかなければならない。
- ・田中先生のこれまでの経験をもとに話をしてもらったので、とても分かりやすかった。決して特別なことではなく、普段の授業の中で使える考え方であった。

<特別支援学校副校長の声>

今回、文科省田中裕一特別支援教育調査官をお迎えし、幼小中合同研修会の機会をもてたことが、まず大きな成果だと感じている。すべての学校園で必要な特別支援教育の視点を共有し、一人一人の教育的ニーズを把握することの大切さ、指導・支援を「つなぐ」ことの大切さを再確認できた。坂出学園が目指す、12年間の幼小中一貫教育、インクルーシブな学校文化の醸成に向けて、貴重な示唆をいただく機会となった。

3 附属特別支援学校公開授業研究会に参加して(小学校教諭)



①公開授業(高等部)の様子



②公開授業(中学部)の様子



③授業者と語る会

<通常学級で取り入れたいこと(一部)>

- ・どの授業も手順や発表の仕方などを視覚的にわかりやすく伝えていた。通常学級でも活用できる。
- ・発表や話合いの仕方を、実際に動画で見せたり、目の前でやって見せたりしていた。通常学級でも、例となる班の活動を紹介したり、言い方を学んだりする時間をとりたい。
- ・学習内容が、生活に直結する内容だった。実際の生活との関係を意識させたり、単元構想の段階で、実際の生活とどのようにつながるのかを考えながら授業作りをしていきたい。
- ・「できない子→できる」の支援だけでなく、「できる子→挑戦する」の支援がなされていた。できてしまった子供が「やることがない」という状況にならないようにしていた。通常学級でも、用意しておきたい。
- ・思考場面を限定してあげた方が意欲的に取り組める子供にとっては、ワークシートなどである程度解決の道筋を示してあげた方がいい場合が通常学級でもあると感じた。

香川大学教育学部附属特別支援学校
実践研究現職教育及び公開授業研究会実施計画

1 日 時 令和元年12月10日(火) 9:30～16:45
令和元年12月11日(水) 9:00～16:00

2 場 所 香川大学教育学部附属特別支援学校
香川大学教育学部附属坂出小学校

3 日 程

12月10日(火)

〔附属特別支援学校〕

打合せ 9:30～9:50 (校長室)

学校見学 10:00～10:30 (各教室)

本校研究の概要説明 10:30～11:30 (校長室)

・本校研究についての指導

(昼食・移動)

〔附属坂出小学校〕

授業参観 13:00～14:00 (各教室)

すばる見学 14:00～14:30 (特別支援教室すばる)

附属学園合同研修会 15:00～16:45 (礼法室)

「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善の考え方

～発達障害の特性から～」

12月11日(水)

〔附属特別支援学校〕

授業参観Ⅰ(中学部) 9:00～9:45 (中・作業室)

授業参観Ⅱ(小学部) 9:50～10:35 (プレイルーム)

授業参観Ⅲ(高等部) 10:40～11:25 (体育館)

授業者と語る会 11:45～12:30 (小:プレイルーム)

(中:中・作業室)

(高:家庭科室)

(昼食・休憩)

講演準備 13:30～14:30

講演 14:30～16:00 (やまももの家多目的室)

「自立と社会参加を視野に入れた授業改善の考え方」

4 講 師 田中 裕一(文部科学省初等中等教育局特別支援教育課 特別支援教育調査官)